

 てんえい

議会だより

No. 138

平成29年4月27日発行

主な内容

- 平成29年3月定例会・第1回臨時会 P2~7
- 4議員が一般質問..... P8~11
- 議会の動き..... P12・13



3月定例会 [会期] 3月7日～14日まで

平成29年3月定例会では、平成29年度予算や条例改正等46件の議案(追加3件を含む)が提出され審議の結果、全件同意・可決されました。

また、1件の陳情を審議、採択とし、議員発議案1件が可決。

今定例会では、4名の議員が一般質問を行い、医療や介護、企業誘致などについて問いました。

《当初予算》一般会計48億5400万円で可決

一般会予算は、歳入歳出それぞれ48億5400万円となっており、前年度比は9.3%の減。そのうち、放射能対策事業を除く予算総額は37億4543万円で、前年度比は0.7%の減となっています。

特別会計は14会計あり、平成29年度予算額の合計は20億285万円。前年度比は2.7%の減となっています。ほぼ前年度並みであり、すべての特別会計が原案のとおり可決となりました。

新年度 事業の予算 内訳

新年度予算は5つの基本目標のもと予算が組まれています。

安心安全な 環境づくり

予算総額
10億8102万円

- 快適に暮らせる住環境の整備
4億2949万円
- 安全安心に暮らせる
環境整備 6億1566万円
- 豊かな自然環境整備
3586万円

支え合い 築く健康づくり

予算総額
5億1789万円

- 生涯にわたる心と
体の健康づくり
1億1842万円
- 地域で支え合う福祉の充実
1億9519万円
- 安心して子育てできる
環境整備 2億427万円

地域を活かした 産業づくり

予算総額
8億1655万円

- 活力ある農林業の推進
7億4318万円
- 地域経済活性化の促進
1327万円
- 地域資源を活用した
観光の振興 6009万円

心豊かな 人づくり

予算総額
1億9068万円

- 子どもたちの生きる力を
はぐくむ環境整備
1億4466万円
- 誰もが夢をもてる
生涯学習社会 3514万円
- 豊かな心を育むための
文化振興 1087万円

未来につなぐ 村づくり

予算総額
5億48万円

- 村民と行政の協働体制づくり
1445万円
- 実行力のある行財政運営と
連携の推進 4億8602万円

平成29年度村政運営の概要が決定

注目の新規・拡大事業

新年度予算では、第五次天栄村総合計画の将来像である「自然と共に 人・未来を創造する村 てんえい」の実現のため、5つの基本目標を中心に予算編成をしていますが、その中で、新たな取り組みとして行われる事業や事業を拡大するものについて、注目するものを取り上げます。

《新生活・住まいづくり応援助成金》新規

人口減少が進む中、若者や子育て世帯の定住促進、二・三世帯の同居等を促進し、定住人口の増加と地域活性化を目的として設けられた事業です。

助成の対象となるには、いくつかの条件がありますが、最大で170万円の助成を受けることができることから、村出身の方や村外から移住を考えている方へ有効的に活用し、今後の人口増加につなげる事業です。

《GPS徘徊探知器》新規

近年、はいかいを常とする認知症高齢者が増加の傾向にあり、村内においても防災無線で呼びかけを行うことが度々見受けられるようになりました。この事業は、そういった認知症高齢者の方を介護するご家族の方のために、所在を確認することのできるGPSを貸与するものです。行方が分からなくなってしまう際、早期発見につなげることを目的として設けられてました。

《青年就農給付金事業補助金》拡大

この事業は国庫事業で、就農前の研修段階及び経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、補助金を 給付するものです。新年度では2名の方が就農される見込みで、青年就農者を支援することにより、天栄村の農業人口減少の抑制等につながることを期待されます。

《こども未来応援事業補助金》新規

この事業は、こども未来基金を活用し、村内在住の子ども達から募集した夢やチャレンジしたいことを村が応援していくという内容。夢に向かって挑戦する意欲を応援することで、将来を担う子ども達の可能性を伸ばし、活力やきっかけとなる補助金です。

《ふるさと納税事業》拡大

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体へ寄付(ふるさと納税)を行った場合に、寄付額のうち2,000円を超える部分について所得税等から控除される制度です。(一定の上限あり)

平成28年度における本村のふるさと納税は、3,797件の申し込みがあり、総額8,482万円となっています。平成27年度より注目され、年々件数が伸びている事業です。

平成29年度予算についての質疑

議会での質疑と答弁

Q [服部議員]
新・農業人育成・確保支援事業補助金1600万円とはどのような事業を行うのか。

A [企画政策課長]
新規就労者支援のための補助金交付や田舎暮らし体験ツアーの経費など、移住や就農者支援のための事業を計画しています。



田舎暮らし体験ツアーでの稲刈り体験



障害事業所による授産品販売

Q [揚妻議員]
障がい者自立支援給付費8990万円の内容はどのようなものなのか。

A [住民福祉課長]
障がい者の自立支援に対する経費で、主に作業所や施設などに通所する障害者への支援費用として、各事業所に給付しているものです。現在の対象者は36名となっています。

Q [小山議員]
消防活動支援隊の組織化を考えているとのことだが、どのような内容になっているのか、また予算化はしているのか。

A [総務課長]
消防活動支援隊は、消防団OBの再組織化を考えており、基本的にはボランティアでお願いしたいと考えています。被服費や消耗品代として、170万円程度の支出を考えています。



防災訓練での消防団による放水



Q [大須賀議員]
通園バスの運行開始時期はいつ頃になるのか、また個人負担金は徴収するのか。

A [教育長]
予算が認められ、準備ができ次第早急に運行を開始する予定です。また湯本のスクールバスと同様、個人負担金を徴収しますが、現在利用している公共交通の金額よりは低くなるように考えています。

平成28年度天栄村一般会計補正予算可決

平成28年度天栄村一般会計の補正予算は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4億3358万円を減額、一般会計の総額はそれぞれ55億6045万円で可決となりました。

天栄村公共施設整備基金積立金の創設

本定例会において、「天栄村公共施設整備基金条例の制定について」が可決されました。

補正予算で計上し可決された基金積立金は、村の公共施設である小学校や給食センター等で、建築後30年以上が経過し、修繕などが必要な施設が出てきており、今後も多額の費用が想定されることから、予め基金に積立を行い、必要に応じ改修や補修等を行うための財源に備えるものです。今回の補正予算において、1億円が積立となりました。



老朽化する施設整備のための基金

道の駅「羽鳥湖高原」、道の駅「季の里天栄」整備事業を繰越明許費として可決

平成27年度に策定した道の駅機能拡充計画に基づき、道の駅の機能拡充を図るために、道の駅「羽鳥湖高原」においては、トイレ整備工事を、道の駅「季の里天栄」においては、周辺整備事業測量設計等業務（測量、設計、許認可申請業務）を進めています。

また、地方創生拠点整備交付金事業として、道の駅「羽鳥湖高原」に係る農林産物加工室整備事業（厨房機能拡充）が平成29年2月に採択されたため、これらに係る工事実施設計も進めています。



道の駅 羽鳥湖高原



道の駅 季の里天栄

【繰越明許ってなに??】

繰越明許とは、予算が成立して事業を執行する中で、事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるものです。これは地方自治法第213条に規定されています。

例えば、当該年度中に完了を予定していた事業が、思わぬ事故や天候不順等により進捗が遅れ、事業を完了することが困難であると予想される際に、議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用することができます。この繰り越した経費を「繰越明許費」といいます。

主な議案の審議

【同意】2名の方の任命・選任に同意

●教育長の任命につき同意を求めることについて

平成27年4月1日法改正により、教育長は村長が議会の同意を得て任命することとなり、増子清一教育長が再度任命されることに同意しました。



増子清一教育長

●固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

委員の任期満了に伴い、小針克也さん(飯豊)を新たな委員として選任することに同意しました。



小針克也氏

【条例の改正】原案どおり可決

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 職員の育児休業等に関する条例の制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 天栄村税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 天栄村湯本へき地保育所に関する条例を廃止する条例の制定について
- 天栄村サービスセンター設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 天栄村ねたきり老人等介護者激励手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 天栄村農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について
- 天栄村村営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について
- 天栄村公共施設整備基金条例の制定について

Pickup!! 湯本幼稚園開園

湯本へき地保育所に関する条例が廃止となり、保育所は平成28年度をもって閉所となりました。平成29年度からは、湯本地区における幼児教育の充実を図るため、湯本小学校内に幼稚園が開園となり、4月10日に開園式及び入園式が行われました。



Pickup!!

ねたきり老人等介護者への激励手当

激励手当額8千円

1万円へ引き上げとするもの

(H29.4.1施行)

Pickup!!

農業委員会に関する法律が改正

主な内容としては

- ①農業委員定数の変更
定数は9名
- ②選出方法の変更

旧 選挙で選出

新 議会の同意を得て村長が任命

- ③農地利用最適化推進委員の新設
農業委員同様定数は9名

【議決案件】原案どおり可決

- 大平辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- 村道の路線の認定について ●村道の路線の変更について

指定管理者の指定

- 天栄村農林水産物直売所(道の駅季の里天栄)の指定管理者の指定について
- 天栄村羽鳥湖オートキャンプ場の指定管理者の指定について
- 天栄村湯本スキー場の指定管理者の指定について

天栄村振興公社の株式化に伴い、株式会社天栄村振興公社を指定管理者として新たに指定するもの。3件ともに可決。

陳情書採択 意見書提出へ

陳情1件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において採択となりました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出について



復興途上にある福島県の最低賃金は低位となっていることから、若者をはじめとする労働人口の確保や景気回復を更に困難にさせる要因となることが危惧されるため、環境整備としての賃金引き上げは復興促進のためにも重要である。

【意見書の送付先】 内閣総理大臣・厚生労働大臣・福島県労働局長

平成29年第1回臨時会の議案審議結果

【会期】
1月26日

平成29年1月26日に開会された第1回臨時会において、2件の議案が審議され、どちらも原案可決となりました。議案の内容は右記のとおりです。



契約

工事請負契約の一部変更について

「高トヤ仮置場建設工事(Ⅱ期)」

(変更内容 工事請負代金455万5,440円を減額)

予算

平成28年度天栄村一般会計

補正予算について

(歳入歳出それぞれ7216万円の追加)

【主な内容】・ふるさと納税返礼品代及び委託料の増額



1 健康・医療・介護のあり方は

議員

超高齢化社会を迎え、益々医療・介護といった福祉が重要な時代になり、村では健康寿命を高める為、様々な施策を講じているが、さらに村民がいつまでも健康であるための今後の対策はどのように考えているのか。また、障害者の現状と施策を伺いたい。

村長

村の高齢化率は、30.7%であり、がん・脳疾患等の生活習慣病や、要介護状態の方が年々増加している状況にあり、健康づくりの意識高揚を図るため、「健康づくりプロジェクト事業」を展開し、更なる健康増進、介護予防を推進して参ります。

議員

特養ホームと民間施設では入居者の負担額に差があり、その差額に対し援助すべきと思うが。

村長

今後の課題として検討します。

議員

在宅介護の家族等の支援策は、

村長

奨励金を8千円から1万円に引き上げ対応します。

議員

現在村内の入所待機数は、

村長

約50名が入所待ちであります。

議員

甲状腺がんの検査結果は、

村長

結果は本人直接の連絡となっており、村としては把握しておりません。今後も検査は続けていく予定です。

議員

認知症患者へのGPS設置の

村長

具体的な内容は、村内の認知症患者は8名おり、そのうち5名が徘徊の対象者と考えますので、これらの方々にGPSを身につけていただき、居場所を特定できるようにしたいと考えています。

2 公立学校の統廃合の見通しは

議員

子どもの出生率は、年々減少傾向にあり、この状況が続けばやがて学校の統廃合が予想される。子どもたちへの影響や保護者への対応という観点から、教育長は学校の統廃合について、どのように考えているのか、その見解を伺いたい。

教育長

10年前より約1000名減少し、全校生で430名となっております。

議員

適正児童数はどのくらいか。

教育長

一学年40名の二学級が適正と考えます。

議員

県の統廃合についての条件や基準はあるか。

教育長

特に強制は無く、最終的には各自治体で考えることとなります。

議員

村では何名になったら統合を考えるのか。

教育長

複式学級が増えた場合、保護者等と相談していくこととなります。

議員

現在の生徒数は、



1 大山農工団地への企業誘致はその後どうなっているのか

社、操業準備中の企業が2社、合計11社となっています。また、残地につきましては、約2.7ヘクタールとなっており、県の企業立地課や東京事務所とともに「企業立地セミナー」「工業団地説明会」等においてセールスを実施しています。

議員

農工団地には、企業立地補助金の効果もあり、震災後数社が誘致されたが、今現在何社になっているのか、また残地に対する誘致の取り組みはどのようにしているのか伺いたい。

村長

現在、操業開始済みの企業が9

産業課長

買い上げ企業が2社、リース企業は9社で年間リース料が2880万円となっています。

議員

今後の残地販売の取り組みは。

産業課長

県主催のセミナーや、説明会の機会に積極的に情報を提供して、セールスを実施してまいります。

2 村内への移住者を増やす取り組みはどのように行っているのか

村長

この取り組みについては住まいの確保が第1と考え、本年度は、事業者が行う賃貸住宅建設に補助金交付事業を行い、12世帯分の住まいを提供できることとなりました。また、空き家バンク制度により、空き家を登録していただき、活用いたします。

議員

さらに新年度予算により、新生活に対する助成、中期的には住宅団地の造成も検討してまいります。その他、「田舎暮らし体験ツアー」を実施し、2件の移住に結びつきました。

議員

移住に対する担当課はどこが担当しているのか。

議員

空き家バンクは2世帯の方々の移住が決まったとあるが、どちらから移住された方なのか。

企画政策課長

主に移住については商工会のふるさと夢学校推進協議会が窓口となり、空き家バンクについては建設課、総合の窓口は企画政策課が担当しております。

村長

あくまで相談窓口は企画政策課であり、のために新設した課でありますので、その辺を徹底してまいります。

村長

1世帯が東京都、もう1世帯が郡山市からの移住者です。

空き家バンク等多くの情報をなぜ村のホームページに載せないのか。大いにホームページを活用するべきではないのか。

議員

窓口が複雑すぎて、実際に相談

人口減少に歯止めをかけるべく、村は様々な手を打っているが、村内への移住者をどのように増やすが大きな課題である。村はどのようなことについて、どのように取り組んでいるか伺いたい。

議員

補助金利用企業3社、雇用創出数54名となっています。

議員

11社中、土地を買い上げた企業数は何社か、またリース企業は何社で年間リース料はどの位か。



1 大里の不法投棄 村の対応は

議員

大里住民から、昨秋頃から産業廃棄物の持ち込みがあり今年になってもち込みがあるとのこと。村ではどのような対応や対策をしたのか伺いたい。

村長

1月に大里東部区長から通報があり、確認しました。場所は畑と牛舎跡地の2か所で産廃の疑いがあることから、所管の県中地方振興局県民環境課に通報しました。その後、同課職員と産廃適正処理監視員と

ともに現地調査を行い、運び込まれた物は解体家屋であることを確認し、土地の地権者に対し搬入の経緯など聞き取り調査を行い、搬入中止と撤去について指導しました。また、搬入者がわかったため、後日、県中環境課で搬入者の聞き取り調査と搬入中止と撤去を指導しました。

その後、新たな持ち込みが確認されたため、再度搬入者と地権者に指導を行いました。村としては、産廃を所管する県と連携し、「排出事業責任の原則」のもと早期撤去に向けて取り組んで参ります。

議員

運んだのはいつなのか。

住民福祉課長

県の担当者によると、長久保地区の畑には12月31日から1月8日にかけて、深沢の牛舎跡地には8月頃からのことです。

議員

3か所ではないのか。廃棄物の身は。

住民福祉課長

地権者の自宅の庭にも置いたと聞いています。中身はすべて、いわき市の蔵2棟分で、ごみが入ったフレコンバックと木材、コンクリート片などです。

議員

運んだ業者はこの業者なのか。

住民福祉課長

郡山の業者だそうです。

議員

村長、村独自で内容を把握し、対応できないと判断した後に県に通報すべきだったのではないのか。

村長

産廃は村ではなく県の所管で、村が指導できる立場にはありません。しかし村内に持ち込まれているので、県の指導をもらいながら一緒にやっていると聞いています。

議員

警察には相談したのか。警察の対応は。

住民福祉課長

須賀川警察署生活安全課では、フレコンバックに入れてあるので、不法投棄でなく「仮置き」として見ています。

議員

産廃処理の許可は持っているのか。

住民福祉課長

廃棄物の運搬処理等の資格はないとの情報です。

議員

資格がないのは違法。村の対応は。

住民福祉課長

撤去の誓約書を県に提出し、畑は3月中に、牛舎は10月中に撤去し、今後持ち込まないとの報告が業者から村にありました。

議員

約束通り撤去すると信用できるのか。

住民福祉課長

知事あての誓約で、見守るしかないと考えています。

議員

最終的に撤去されなかった場合、代執行は県が負担するのか。

住民福祉課長

すぐに代執行とはなりません。その場合に村が負担することは考えていません。

議員

村長に確認しますが、最終的には村の負担はない、県が責任をとるんですね。

村長

業者が約束を履行するよう、最悪の場合も考え、県と協議しつつ注視

していきます。

2 いじめについて

議員

須賀川市など県内で中学生の自殺が相次いでいます。いじめ問題に対しての、今後の対策を伺いたい。

教育長

教育委員会では「天栄村いじめ防止基本方針」を策定し、各学校でいじめ防止の取り組み、早期発見・早期対応のあり方、相談体制、指導体制、校内研修、学校基本方針の見直し・点検、保護者・地域住民との連携など、教育活動全体を通して、その対応に万全を期しています。今後は教育委員会と学校が核となり、「いじめ」根絶に努めていきます。

村長

いじめ防止対策推進法のもと、いじめは天栄村から絶対に出さないとの強い思いで、村民のご協力を頂き、組織のあり方を更に検討し、いじめ防止に努めて参ります。

1 企業誘致の進捗状況について

議員

村内の若者が地元企業に就職し働く事は、定住化につながり重要な事と考えます。

そこで、現在残っている工業用地の面積がいくらなのか、また、それらに対して、以前の様に企業誘致活動について実施しているのか伺いたい。

村長

現在の誘致の取り組みとして、

福島県との連携による誘致可能な企業の情報収集を行いながら、セールスを行うとともに、団地説明会等において誘致活動をしています。

新規企業の誘致は働く場の提供とともに人材の確保や人口減少を抑制していく上でも重要なことであり、今後も新規企業の誘致に努め、雇用の拡大を図ってまいります。

議員

工業団地に立地している企業のケアとして、社長さん方の意見交換の場を設けて、異業種間の交流が大切と考えるが、いかがか。

村長

年度の初めに訪問して、意見を聞いています。商工会と立地企業との意見交換会を実施しており、今後も積極的にやりたいと考えています。

議員

実施する事は重要であり、その中から他の企業の引き合いがあり用地の販売につながると考えるが、どうか。

村長

有効な情報を得られるように、積極的に行っていききたいと考えています。

議員

用地が完売した後は、新しい工業団地の造成を考えているのか。

村長

国の経済動向や、近隣市町村の状況を観ながら考えていきたいと思えます。

2 耕作放棄地対策は

議員

村内の農地には、何も栽培されていない農地が数多くみられます。特に国営農地開発事業によって実施された大里地区が多く、背の高い草に覆われた状況になっていきます。多額の負担金を支払っている農家にとっては、米価が安い昨今農業経営も大変だと思われる。

そこで、村ではそれらについての対策をいかに考え進めていくのかお聞きしたい。

村長

農業者の高齢化や担い手不足により、更には、原発の風評被害による農作物の価格の低迷も、農地の遊休化に二層の拍車をかけているところです。

国ではその対策として、農地中間管理機構の活用を考えているところですが、本村でもこうした国の方針に沿って、村農業委員会を中心に遊休農地の解消に向けた取り組みを実施しています。

議員

畑作物の普及とサポートは、どのようにしていくのか。

産業課長

農協での部会組織を中心に支援していきます。また、国県の支援を受けながら組織化をしていきたいと考えます。

議員

農家の収入アップに対して農業

経営が成り立ち、若い人に農業を担ってもらえるよう、生産組織を作るなどの取り組みについても必要と考えますが、いかがか。

産業課長

農協とタイアップして、農家の収入アップを図っていききたいと考えています。農業組織化が必要であり、各集落の組織化を推進していきます。

議員

大里地区などの、遊休農地の対策を具体的にはどう進めていくのか。

産業課長

農業生産法人への斡旋と、地区に合った畑作物の導入など、国県と協議しながら事業を考えていきたいと思えます。



▶ 岩瀬地方町村議会議員協議会の研修会開催

広報発信によるまちづくりを!!

2月27日、岩瀬地方町村議会議員協議会主催による研修会が鏡石町鏡石館で開催され、天栄村と鏡石町の議会議員22名が参加しました。

研修会では、会長の渡辺定己議長より主催者挨拶、開催地の地元町長として遠藤栄作町長より挨拶があり、来賓として出席した、岩瀬地方町村会会長の添田勝幸天栄村長、川田昌成県議会議員から祝辞がありました。

研修会では、今、町村もイメージアップのためのメディア対応が重要となっており、これからのPR戦術についてCMディレクターとして活躍している太田渉氏(鏡石町在住)から、ふるさとビデオ大賞の受賞作品や、各市町村が行っている事例などについての講演を拝聴しました。



▶ 全国市議会議長会基地協議会第80回総会

全国の防衛施設市町村議会議長が集結

2月1日に、東京都の都市センターにおいて、第87回理事会・第80回定期総会が開催、全国の95市町村の議長が出席し、当村からは廣瀬和吉議長が理事会・総会に出席しました。

原田総務副大臣、小林防衛副大臣が来賓として挨拶、元防衛大臣の森本敏氏から「揺れ動く国際情勢と日本の安全」と題する講演が行われました。

総会では、平成28年度会計決算、平成29年度運動方針、事業計画及び予算について協議し、原案どおり可決されました。

村における平成28年度防衛施設の交付金は、基地交付金(固定資産分として支払われる)は947万円、周辺整備交付金(整備の事業として支払われる)は2,500万円となっています。



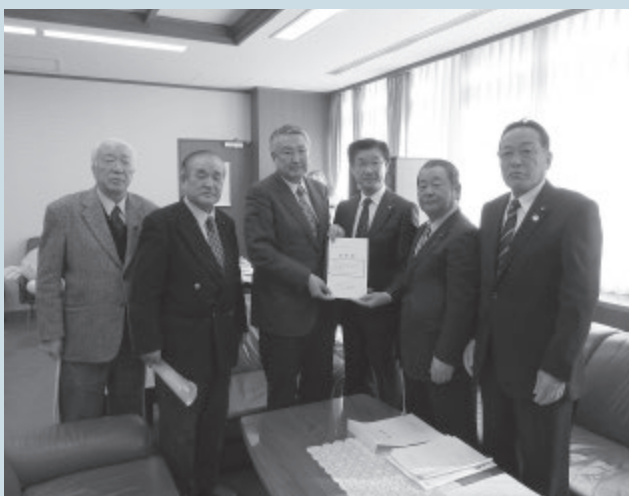
要望活動

幹線道路整備を県へ要望

岩瀬地方市町村議会議長会が実行運動

2月3日、須賀川市・鏡石町・天栄村の議長で組織する岩瀬地方市町村議会議長会(会長 廣瀬吉彦須賀川市議会議長)が、福島県の県中地方振興局並びに県中農林事務所、県中建設事務所、更には県庁の土木部など関係部局及び、県議会議員へ要望活動を行いました。

これは、去る10月3日の岩瀬地方市町村議会議員大会で決議された、各市町村要望事項実現のための実行運動で、村からは「国道118号の整備促進」、「国道294号の整備促進」、「県道白河羽鳥線の整備促進」を提案議決されており、これらの早期実現について要望を行ったものです。



国道118号の道路整備を要望

国道118号道路整備促進期成同盟会

11月28日29日の両日、天栄村と下郷町で組織している国道118号道路整備期成同盟会(会長 添田勝幸村長)において、国会議員並びに国関係機関に対し鳳坂峠トンネルの早期開通などについての要望活動を行いました。

衆参両院の議員会館においては、森まさこ参議院議員を初めとする、福島県関係の国会議員15名に、霞ヶ関官庁では、国土交通省および財務省を訪問し道路の重要性や早期開通に向けた地域住民の熱い思いなどを訴えました。

※鳳坂峠トンネル(トンネル延長約2,500m)は、今年6月の工事着手に向けて準備が進んでおり、平成33年度に工事が完了する予定です。





2月8日開催の全国町村議会議長会第68回定期総会において「政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会」「住民に開かれた議会」「地域振興のために特別な取り組みをした議会」として、日頃より他の範とする活動を行っていること認められ、優良町村議会として表彰を受けました。

表彰状は、2月21日開催の福島県議会議長会総会の席上、廣瀬議長に伝達されました。



村長へ受賞を報告



表紙の写真

湯本地区下河内で咲いたしだれ桜の写真です。



あなたも議会を 傍聴してみませんか？

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎82-2101



議会のホームページを ご覧ください

議会のホームページが開設されています。議会の概要、会議録(平成24年3月以降の定例会・臨時会)、議会だよりが掲載されています。



天栄村ホームページトップ → 天栄村議会 をご覧ください。

<http://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/>

編集後記



「若葉の緑が目にも鮮やかな折」「木々もすっかり芽吹き」など春をイメージさせる言葉を考えていた時に、英語ではどういった言葉があるのかと少し調べてみました。

I found the breath of spring in the park(春の息吹を公園で見つけました)とありました。他にはspring cleaning(これは欧米では暖かくなった春の時期に大掃除をする習慣があるための季節の言葉です。日本の年末の大掃除の習慣と同じですが、国よりの生活習慣の違いを見つけ出すと、調べていて楽しいですね。

「英語の村てんえい」を進めていく中で私をもっと英語に関心を持つて、身近に英語を感じたいと思いました。

去年の年末に大掃除を仕損なった方はspring cleaning(スプリングクリーニング)をしてみませんか？

《議会広報常任委員会》

- 委員長 渡部 勉
- 副委員長 北畠 正
- 委員 小山 克彦
- 委員 大須賀 溪仁
- 委員 後藤 修